

新潟鳥屋野線整備に伴う事業効果

交通の円滑化

○新潟鳥屋野線の開通により、開通前の経路である旧米山踏切・旧天神尾踏切の交通量が減少しており、交通の転換により安全性・利便性が向上した。さらに、南北方向の総交通量は増加していることから、交通ネットワークの充実による交通の円滑化が図られている。

○旧踏切部は幅員が狭く、朝夕の混雑時間帯は自動車と歩行者が交錯するなど危険な場所であったが、交通量の減少により解消が図られた。

《自動車類の南北総交通量》



《歩行者・自転車類の南北総交通量》



- ・調査時間：7時～21時（14時間）
- ・観測種類
自動車類（乗用車、バス、小型貨物、普通貨物、タクシー）
歩行者類（歩行者、自転車、シニアカーなどのその他）

開通前[踏切]



歩行者・自転車と自動車
が交錯



開通後[旧踏切]



自動車交通量が減少し
歩行者・自転車の安全性向上